

宿泊型農業体験事業 食育ファーム

- 滝川市は、本交付金を活用し、教育ファーム(平成25年度から食育ファームに名称を変更)に取り組んでいる。
- 滝川市保健福祉部健康づくり課が中心となり、滝川市教育委員会、滝川おもしろ食育塾(平成20年立上げの市民ボランティア)、市内の受入農家の協力で実施している。
- 食育ファームに参加した子ども達は、食の大切さの理解のほか、農業や地域に対する知識を深めることにもつながっている。



【取組の内容】

市内の小学5～6年生を対象に、夏休み期間を利用して2泊3日の宿泊型農業体験を実施。農業者による参加親子に対する事前学習会を皮切りに、子ども4～5人が同じ農家に宿泊し、各農家で農業体験等を実施。(25年度は29名が参加)

子ども達は、生産者と交流しながら、①地元農産物(そば粉・小麦粉(はるゆたか))を使用したそば打ち、パン作り体験や、②野菜の収穫体験と収穫した野菜での調理体験(スープやサラダ作り)などを実施。



親子事前学習会



収穫体験

【取組の成果】

お世話になった農家への手紙や事後アンケートから、子どもたちは、農作業だけではなく、農家の方々と触れ合うことによって、食べ物の背後にある農家の暮らしや命のつながりを実感し、食の大切さの理解、農業や地域に対する知識が深まり、食の自己管理能力が育まれたことが伺える。

また、保護者は子どもとの話を通じ、教育ファームによる様々な効果を感じており、子どもを再度教育ファームに参加させたいとの意向が示されている。

保護者に対する事後アンケート(25年度: 保護者回答24名)(抜粋)

問 食育ファームでどのような効果があったと思いますか。(5段階評価)

食べ物に対する知識・理解が深まった。	4.43
農業に対する知識・理解が深まった。	4.29

問 子どもと食育ファームの話をしましたか。 はい:100%

問 子どもを食育ファームにまた参加させたいですか。 はい:100%